

平成26年度

静岡県立大学 大学院経営情報イノベーション研究科（修士課程）

試験問題

【専門科目】

経営系

◎試験開始の合図があるまで開いてはいけません。

(注意事項)

- (1) 試験時間は、9:30—11:00（90分）です。
- (2) 試験問題は、表紙を含めて3枚です。
- (3) 解答用紙は、2枚です。
- (4) 解答用紙は、すべて回収します。
- (5) 問題用紙は、試験終了後持ち帰ってください。

以下の経営学、商学、会計学の三つの領域のうち、一つの領域を選び、解答せよ。(なお商学は問題1と問題2の両方を、また会計学は問題1もしくは問題2を選択すること。)

試験問題 (経営学)

多くの企業が国境を越えて事業活動を展開している。なぜ企業は国境を越えた事業活動、つまり国際化を行うのかについて説明しなさい。なお、説明にあたっては、実際の企業の事例を用いて述べること。

試験問題 (商学)

問題1 流通システムにおいて、流通としてのが存在する理由の代表的なものとして、「取引数最小化の原理 (取引数節約の原理)」がある。

(1) 空欄Aに入るものとして、最も適切な言葉はどれか。下記のA~Dから選びなさい。

(2) 空欄Bに入るものとして、最も適切な言葉はどれか。下記のA~Dから選びなさい。

(3) 問題文中の下線部「取引数最小化の原理 (取引数節約の原理)」について説明せよ。なお、説明にあたっては、図も用いること。

問題2 企業は消費者の心理面を考慮して価格対応を行うことがある。たとえば、端数価格 (odd price) ①、威光価格 (prestige price) ②と呼ばれる価格設定は、消費者心理に応じた価格対応である。

(1) 下線部①の端数価格および下線部②の威光価格はどのような価格設定か。それぞれ

具体的な事例をあげて、説明せよ。

(2) 下線部②の威光価格が作用する場合の需要曲線を図示せよ。なお、図示にあたっては、縦軸を「価格」とし、横軸を「需要量」とすること。

試験問題（会計学）

いずれか一問を選択・解答しなさい。

<問題1>

企業の研究開発費を貸借対照表上に資産計上することは日本の会計基準では認められておらず、国際財務報告基準（IFRS）でも資産計上をする際には、厳しい要件を満たす必要がある。

なぜ研究開発費の資産計上が制限されているのか。その理由について述べなさい。また研究開発費を資産計上することの是非についても自身の考えを述べなさい。

<問題2>

IFRS における研究開発に関する基準は、企業が創発するイノベーションに対して、いかなる影響を与えているか。実例を踏まえた議論を展開せよ。